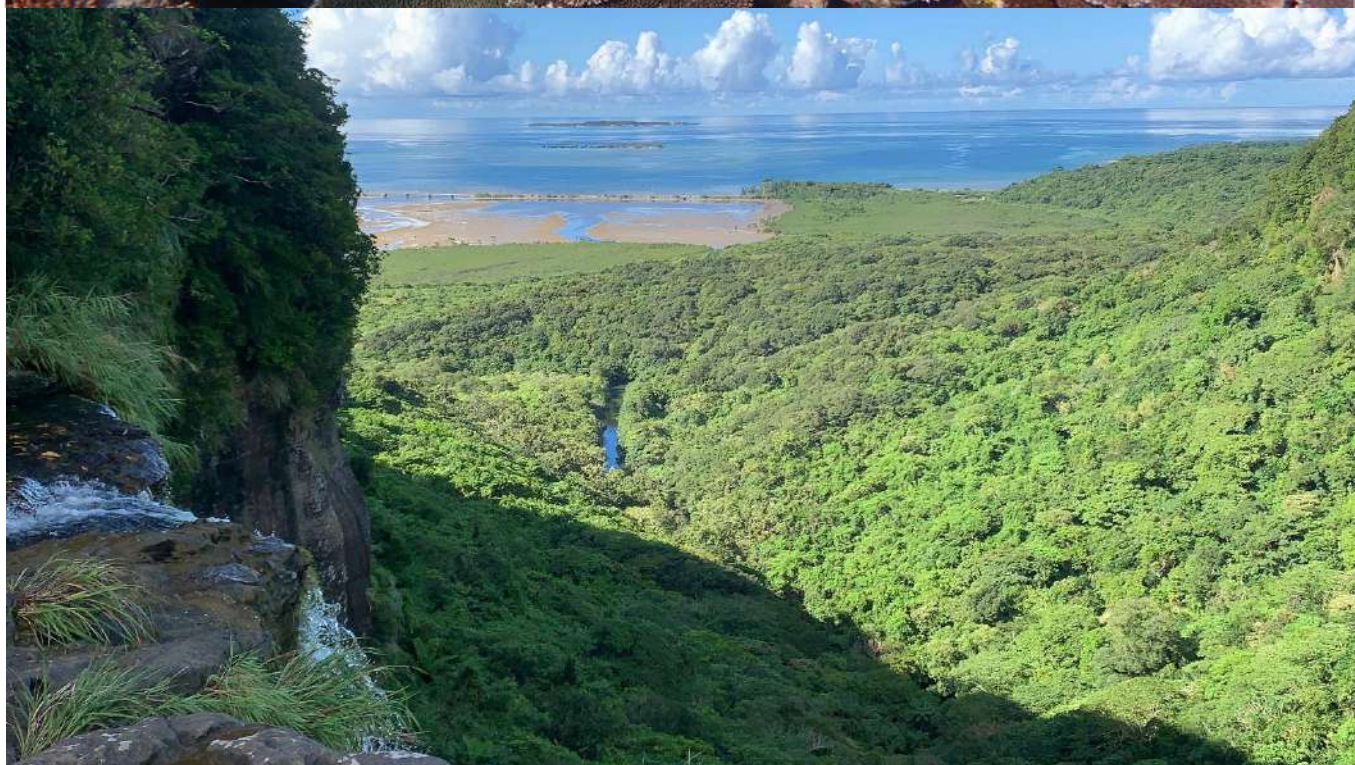


令和4年
海洋教育「結め海科」カリキュラム
評価



竹富町立 船浦中学校

評価の工夫

「持続可能な社会作りに資する教育活動で重視する能力・態度」がどのように変容しているかを評価するために、「船浦中学校海洋教育ルーブリック」を開発した。

船浦中学校 海洋教育 ルーブリック				
3 年	1 番	氏名	()	
		○どのような場面で、自分は頑張れたか。 西表島の海の現状を知り、これからどうするかなど課題解決の方法を考えることができた。		
		○海洋教育でできるようになりたいこと 西表の海を守っていくための課題解決のために自分の日常生活を見直し、自然のためにエコバック、マイ箸、マイボトルを常備しておきたい。		

船浦中学校 海洋教育ルーブリック

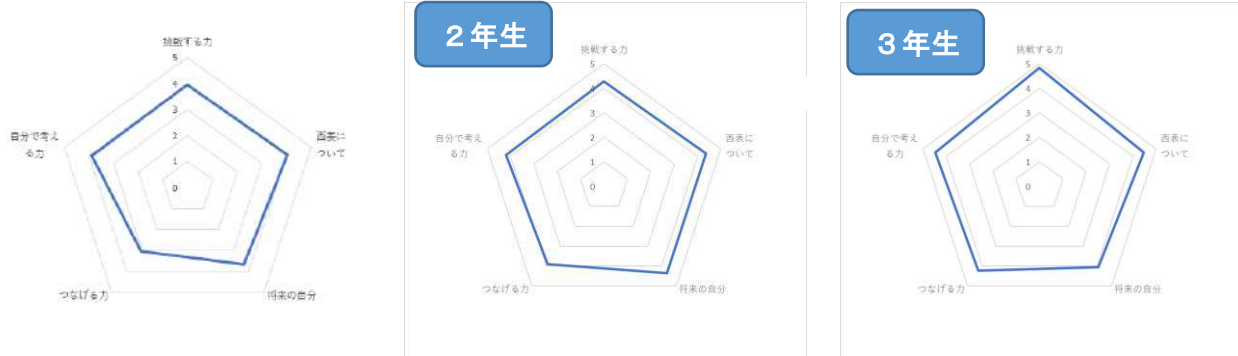
それぞれの能力・態度には、評価内容が5点記入されており、生徒は当てはまることを自己採点することにより、学期ごとの振り返りを行う。自己評価した数値は、チャートにまとめ、自分が努力したところ、もっと学びたいことを記述するよう指導を行っている。

これらの過程で、生徒は自分の成長や変化を確認し、次の課題へ進むことができるようにする。

船浦中学校 海洋教育 ルーブリック					
() 年 氏名 ()					
自分で考える力	1	身近な海を自分の海とし、その価値を伝えることができる。	西表について	1	西表島に、誇りと愛を持っていく。
	2	なぜ、そのようになっているのか。学習したことや経験を結びつけて、考えることができる。		2	西表島の歴史と未来に預けたいものを理解している。
	3	他者の考えから、自分の考えを見直し、広げたりすることができる。		3	西表島の価値について理解している。
	4	課題解決に向けて、1つの方法ではなく、複数の方法を考えることができる。		4	西表島の課題解決の方法を伝えることができる。
	5	輝かしい未来のために、何をどうするべきかを考えることができる。		5	西表島を守っていくための課題解決に向けて行動することができる。
つなげる力	1	友人や他校の方々と学ぶことができる。	将来の自分	1	「持続可能な社会（海洋教育）」で学んだこと、できるようになったことが将来役に立つと思う。
	2	課題解決に向けて、友人や他校の方々と協力しながら積極的に取り組むことができる。		2	多様性を認め、助け合うことができる。
	3	課題に取り組む中で、自ら発言したり行動することができる。		3	自分の意見を伝え、争いごとや他校の価値を理解できる。
	4	友人や他校に様々な提案をすることができる。		4	自然や社会、世界のよりよい姿を理解し、その良さを理解している。
	5	よりよい未来のために、日常生活を見直し、積極的に行動することができる。		5	持続可能な社会作りの一員として貢献し、行動することができる。
挑戦する力	1	責任を持って、自分ができることは自分から進んで取り組むことができる。	○どのような場面で、自分はがんばれたか。 ○海洋教育でできるようになりたいこと		
	2	自分の良さを生かして、友人や他校の方々と協力することができる。			
	3	方法を工夫して自分たちの考えを表現することができる。			
	4	自分たちの生活を未来のことを考えて、見直し行動することができる。			
	5	皆で協力すれば大きなことを成し遂げることができる。			

船浦中学校 海洋教育ルーブリック 項目

【2学期の結果】



【生徒のコメント（抜粋）】

○どのような場面で、自分はがんばれたか。

自分が西表の今の海の現状を知ること。
それを発信、発表したこと。

○海洋教育でできるようになりたいこと

自然について、海について、将来、未来の状況
を予想して、今からでいいこと。積極的に
行動に移し、それをたくさんの人に分かせる。

○どのような場面で、自分はがんばれたか。

ビーチクリーンやサンゴのカラーチェックのときに後輩たちに指示もふれて
あげることができた。また、自分が考えたことをわかりやすく
伝えることができた。

○海洋教育でできるようになりたいこと

今の現状を知り、考え、しっかりと自分の考えを相手に伝え、
行動できるようにしたい。
仲間と意見を交わし、自分で考え、行動する人になりたい。

○どのような場面で、自分がんばれたか。

西表島の現状について知り、どうすれば
よい未来にするかも、考えた。

○海洋教育でできるようになりたいこと

海洋教育で、サングラスがどう使われているか、
海がどんな状態になっているか、など人に
知ってもらうために、自分たちで説明できるようにした。

○どのような場面で、自分がんばれたか。

海洋教育の学習で知は、西表の海や川にどのような生物が
生きているか、知、行、見、問題、自分の目で確かめ、考え、行動
するまでを体験した。

○海洋教育でできるようになりたいこと

知がどうなるかに注目したことは、ホラエビは海に生きている、自分の
うきをみて、海に「海」「川」など、見つけたものを、
見つけたものを、

海洋教育を通して育まれた資質・能力（１・２学期）

好奇心と探究心の向上



海に関する学習への好奇心と意欲、学習対象への課題意識と探究心が高まりました。

協働的な学習の価値の気づきと自己有用感の高まり



自分の学び、協働による学びの価値に気づき、自尊感情と他尊感情、自己有用感をグループの中で育むことに繋がりました。

自然事象の道理を考える力、説明する力



自分たちの調べた海の特徴をまとめること、その事象が「なぜ、そのようになっているのだろうか？」と原因や理由を仮説として考えていくことで、物事をよく見る力、自分なりに仮説を立て、根拠を明らかにしていく力、自分の考えを説明する力を身に付けることができました。

海洋に関する共通教養（海洋リテラシー）を身につける



サンゴが自然の防波堤として、強い波を防いでいることや、豊かな生物多様性と生態系を支える重要な役割を果たしていること、サンゴの生態について学ぶことができました。

海洋教育を通して育まれた資質・能力（3学期）

伝える力・発信する力

【3時間】 編集して伝えよう

【技術・情報】

○環境について調べたいテーマを決め、集めた材料を検討し、伝えたいことを明確にする。

○伝える目的や内容に適した文章の種類を選択し、構成や表現を工夫して書く

生徒が学んだことをまとめ、発信する活動において、本校ではChromebookを用いて、海洋教育「結め海科」に関するホームページの作成に生徒自身が行った。

グループごとに「西表島」、「サンゴ」、「フィールドワークで調べた内容」、「サンゴに関する問題点」、「私たちができること」などのカテゴリーに分かれ、学んだことや、環境を守っていくために必要なこと等をインターネットを通じて発信し、自分たちの学びや思いを表現している。

生徒の作ったサイトの様子



私達が「結め海科・海洋教育」で学んだことを国語の授業でまとめました。このサイトから西表の海について知ってもらい、そこから皆さんが学び、どう動くか。これからの行動のきっかけになって欲しいと思います。

サンゴ礁に囲まれた島。

西表島はサンゴ礁に囲まれた、自然豊かな小さな島です。

沖縄本島から456km、東京から約2000kmの場所にあります。亜熱帯に属しており一年中過ごしやすい気候になっています。そんな西表島は現在16の集落があり、約2400人の人々とたくさんの動植物が生活しています。絶滅危惧種のイリオモテヤマネコや天然記念物のヤマハコガメ、カンムリワシなども生息しています。2021年7月24日に「奄美大東、徳之島、沖縄本島北部および西表島」が世界遺産に登録されました。



ざっくり西表MAP



船浦中学校
海洋教育「結め海科」サイト QR コード